

2014年12月17日

第14回 日中韓三カ国会計基準設定主体会議を開催

2014年11月23日、中国のシンセンにおいて、日本、中国、韓国の会計基準設定主体による会議が開催されました。本会議には、企業会計基準委員会（ASBJ）の小野行雄委員長、中国財政部会計司のLiu Guangzhong 副司長、中国会計準則委員会（CASC）のDi Kai 副司長、韓国会計基準委員会（KASB）のJee In Jang 委員長、国際会計基準審議会（IASB）の鶯地隆継理事及びChungwoo Suh 理事、香港公認会計士協会のClement Chan 委員長及びマカオ監査人会計士登録委員会のYung Chi Chung 委員を含めた三カ国からの代表者が参加しました。

本会議においては、三カ国からの代表者によって各会計基準設定主体における最近の活動状況について確認がされたほか、IASBの主要プロジェクト及びアジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）による将来に向けた取組みについても、充実した議論が行われました。議論に基づき、三カ国の代表者は今後の取組みに関して、次の事項について合意いたしました。

1. IASBで行われている主要なプロジェクト（概念フレームワーク、保険契約及びリースを含む）を引き続き注視するとともに、単一で高品質なグローバルな財務報告基準の開発に向けて共同で貢献していくことに引き続きコミットすること。
2. AOSSGによる将来の戦略の開発において、アジア・オセアニア地域内の会計基準設定主体の中で主導的な役割を果たすこと。
3. IFRSの基準開発プロセスへの関与のあり方を更に改善していくため、IFRS財団による将来のガバナンス改革レビューに関し、三カ国による連携や協力関係を強化すること。

次回の会議は、2015年11月23日に韓国で開催される予定です。

以上